

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

直接法による定額法で減価償却を実施している。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金は、年度末の要支給額を計上している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及び残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	5,000,000	0	0	5,000,000
小 計	5,000,000	0	0	5,000,000
特定資産				
周年行事引当資産	2,582,148	975	0	2,583,123
青年部会20周年引当資産	400,000	0	400,000	0
退職給付引当資産	1,831,943	200,707	0	2,032,650
社会貢献引当資産	1,699,316	112	0	1,699,428
小 計	6,513,407	201,794	400,000	6,315,201
合 計	11,513,407	201,794	400,000	11,315,201

3. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	681,400	681,400	0
合 計	681,400	681,400	0